

## 試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：農業体験に適したストックの育苗方法と開花調節技術			
[要約] 固化培地でセル成型育苗されたストック苗を使うと、培地が崩れないため初心者でも容易に八重鑑別体験ができる。8月播種したアイアンシリーズの品種にプロヘキサジオンカルシウム塩を散布すると、年内の収穫体験が可能となる。			
キーワード： ストック、八重鑑別、育苗、固化培地、開花調節			
実施機関名 主 査 農業総合研究センター・暖地園芸研究所・花き研究室 協力機関 安房農林振興センター、枇杷倶楽部			
実施期間 2004年度～2006年度			

### [目的及び背景]

本県では、「大地と海のグリーン・ブルーツーリズム in 千葉」を重要施策とし、農山漁村地域の活性化を図っている。グリーンツーリズムは、都市住民が農村を訪れ農業体験をする余暇活動であるが、南房総地域での農業体験事例は少ない。

そこで、南房総地域を代表するストックの切り花栽培を体験できるメニューを作成する。その1つとして、ストック独特の栽培技術である八重鑑別を、初心者が容易に体験できる育苗方法を見出す。さらに、夏休みに八重鑑別を体験し、お正月用として年内に収穫をするため、人気が高いアイアンシリーズにおけるプロヘキサジオンカルシウム塩（商品名：ビビフルフロアブル）の処理効果を明らかにする。

### [成果内容]

- 1 固化培地（商品名：プラントプラグ）は、慣行セル成型育苗培地と発芽率の差はない（表1）。
- 2 固化培地は、育苗期間が短い場合でも培地が崩れないため、八重鑑別の際に一重と思われる芽の抜き取りが簡単で、苗をいためず定植でき、初心者の八重鑑別体験に適する（写真1）。
- 3 固化培地で八重鑑別した切り花の八重率は、慣行培地と大差はない（表1）。
- 4 アイアンシリーズの品種は、8月上～中旬に播種すると、開花期間が12月～翌年3月までとばらつくが、ビビフルフロアブル1,000倍液（100リットル/10a）を10～14葉期に1回目散布、1週間後に2回目散布をすることにより、年内の収穫が可能となる（表2）。

### [留意事項]

ビビフルフロアブル散布処理により、切り花長はやや短くなる。

### [普及対象地域]

県下全域

### [行政上の措置]

[ 普及状況 ]

[ 成果の概要 ]

表1 セル成型育苗培地が発芽率及び収穫時の八重率に及ぼす影響

品種	発芽率 (%)			八重率 (%)			
	固化培地	慣行A	慣行B	固化培地	慣行A	慣行B	
1本立ち系	ホワイトアイアン	87.0	78.6	80.2	79.2	77.1	79.2
	イエローアイアン	80.7	84.9	76.0	69.4	75.0	70.5
	ピンクアイアン	81.3	90.1	88.5	84.7	49.3	53.5
スプレー系	チェリーカルテット	83.9	81.8	78.6	85.4	87.5	81.3
分枝系	チェリーファミリー	84.6	83.3	85.2	75.0	87.5	75.0
平均		83.5	83.8	81.7	78.7	75.3	71.9

注1) 平成17年9月6日に、1セル当たり3粒を播種、9月20日に八重鑑別  
 2) 慣行A:メトロミックス、慣行B:ガッチリくん、128穴セルトレイを使用



写真1 固化培地で育苗したストックを用いた、小学生による八重鑑別体験(左)と定植作業体験(右)

表2 「ビビフルフロアブル」処理が時期別採花率及び切り花長に及ぼす影響

品種	播種日	ビビフルフロアブル 処理の有無	採花時期			切り花長 (cm)
			10%開花	50%開花	90%開花	
ピンク アイアン	8月10日	有	11月下旬	12月上旬	12月中旬	80.3
		無	12月下旬	1月下旬	2月中旬	96.6
	8月17日	有	12月上旬	12月上旬	12月中旬	76.6
		無	1月上旬	1月下旬	2月中旬	93.2
	8月24日	有	12月上旬	12月中旬	12月下旬	70.0
		無	1月下旬	2月上旬	3月上旬	90.9
8月31日	有	12月下旬	1月上旬	2月上旬	73.7	
	無	1月下旬	2月上旬	3月上旬	84.4	
イエロー アイアン	7月20日	有	10月中旬	10月下旬	11月中旬	76.4
		無	11月上旬	11月下旬	2月中旬	90.1
	7月27日	有	10月下旬	10月下旬	11月下旬	72.1
		無	11月上旬	12月上旬	2月中旬	86.3
	8月3日	有	10月下旬	11月上旬	11月中旬	68.0
		無	11月中旬	12月下旬	3月上旬	87.9
8月10日	有	11月中旬	11月下旬	12月上旬	73.4	
	無	11月下旬	12月下旬	3月上旬	88.6	

注1) 試験実施年度: 「ピンクアイアン」は平成16年度、「イエローアイアン」は平成17年度  
 2) 処理方法: 10~14葉期に1回目散布、1週間後に2回目散布、  
 各回1000倍液を100リットル/10a散布

[ 発表及び関連文献 ]

平成15~18年度暖地園芸試験成績書

千葉の園芸、第56巻10月号、2007年

[ その他 ]